

新市立病院紹介シリーズ③

新しい設備がつくる

快適な治療環境

たくさんの医療機器が新たに導入される新市立病院。前回紹介した放射線科関係の機器のほかにも、いろいろな最新設備が導入されます。今回は、その他の新しい設備を紹介します。

介護用シャワー入浴装置

(4～8階 各病棟)

自分で入浴することができない患者さんが、寝たままの状態に入浴できるシャワーベッド装置です。この機器を使うことで、より多くの患者さんが快適に安心して入浴することができま。シャワーの湯で全身が刺激されることにより、血行の促進や、新陳代謝の活性化などの効果が期待できます。新病院では病棟各階の介護浴室に設置します。



介護用シャワー入浴装置

電動ベッド

(2階、4～8階 各病棟)

入院患者さんは、生活の場として1日の大半をベッドの上で過ごすので、ベッドの環境は特に大切です。新病院では、リモートコントロールで自由に姿勢を変えられる電動ベッドを全病棟に導入します。



ベッド洗浄装置・マットレス蒸気消毒装置

(地下1階 ベッドセンター)

ベッドの熱水洗浄やマットレスの蒸気消毒を機械で自動的に行う装置です。汚れたときだけでなく、定期的に洗浄・消毒を行うことで、ベッドをいつも清潔な状態に保ち、院内感染を防止します。

採血管準備システム

(1階 臨床検査科)

血液を使用して行う検査は、内容に応じて多くの種類の採血管が必要となります。採血管準備システムは、主治医からコンピュータで依頼された検査内容に応じて、それぞれの患者さんに必要な採血管を自動的に準備するシステムです。



採血管準備システム

全自動蓄尿システム

(4～8階 各病棟)

このシステムの導入により、検査の準備が正確かつ迅速にでき、患者さんの待ち時間が短縮されます。

採取した尿を入れるだけで、量や比重を測定し、記録できる装置です。記録を集計することで、24時間分の総尿量、比重もわかるので、今までのように1日分の尿を残しておく必要がなくなります。パソコンに接続して前回値



全自動蓄尿システム

紫外線全身照射装置

(2階 皮膚科外来)

と比較検討したり、少量の尿を残してより精密な検査を行うことができます。

皮膚病のなかには、紫外線照射が治療に有効なものが多くあります。新しく導入する最新型の照射装置は、皮膚病の治療に有効な紫外線だけを、短時間で安全に照射できるもので、最新型としては県下では初めて導入されます。



紫外線全身照射装置

調剤監査システム

(地下1階 薬剤部)

患者さんの薬は、処方せんに従って速く正確に調剤することが大切です。

新病院では、従来の薬剤師によるチェックに加え、コンピュータで薬品の種類や使用量を確認し、誤りを防止するシステムを導入します。このシステムを使うことで、より安全性の高い薬を、効率よく患者さんに提供することができます。



新病院の市民見学会を6月22日(土)の午後、同23日(日)の午前・午後に予定しています。詳しいことは、広報ひこね6月15日号でお知らせします。

新病院に関する問い合わせ先 病院総務課 ☎22-6050 (内線357) FAX26-0754